



静岡市 いきもの 散策マップ

高山・市民の森コース

しょくぶつ

●ミズバショウ



湿地に生えるサトイモの仲間。5月頃に大きな白い花を咲かせます。強い毒を持っています。

●タラノギ



春に出る若芽は「タラの芽」と呼ばれ食べられます。8月、枝先に小さな白い花を咲かせます。

●ミツマタ



枝が三つに分かれているので、こう呼ばれます。和紙の原料になります。3月に白い花が咲き、後に黄色へと変わります。

●ヤブレガサ



若い葉が破れた傘に似ているので、こう呼ばれます。林の中で育ち、7～10月に白っぽい花を咲かせます。

●カキノハグサ



山地の林の中で育ち、5～6月にやや大き目の黄色の花を咲かせます。日本にだけ分布する植物です。

●コアシサイ



山地の明るい林の中で、6～7月に淡青色の花を咲かせます。アジサイと違って、ガクの大きな飾り花はありません。

●ヤマジノホトトギス

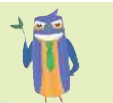


山地の林のまわりで生えています。8～10月に鳥のホトトギスの胸の柄に似た、白地に紫色の点がある花を咲かせます。

●ツルリンドウ



茎がツル状になるリンドウの仲間です。山地の林の中に生えています。8～9月に紫色をおびた白色の花を咲かせます。



●ホタルブクロ



キキョウの仲間。釣り鐘のような形をした桃色の花を6～7月に咲かせます。草原や山地に生えています。

●ノコンギク



山地の林のまわりでよく見られます。9～11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の裏面に強い毛があります。

●オオタラノゴ



山地の陰当りの良い涼しい場所に生えています。6～7月に虎の尾のような花を咲かせます。先が垂れ下がる房状の白い花を咲かせます。

●ヒヨドリバナ



ヒヨドリが山から下りてきて啼く頃に花が咲くことから、この名前がきました。8～11月に白い花を咲かせます。

とくがいず・かえる

●ニホンカナヘビ



体長9～15cmの小さなトカゲで、昆虫などを食べます。山地から低地まで広く分布し、庭先でも見かけます。

●アズマヒキガエル



体長9～15cmになる大型のカエルで、顔の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さくクッククックと鳴きます。

●モリアオガエル



体長4～8cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。ブコブコブコブと鳴き、水上の小枝に池のような卵を産みつけます。

●アカハライモリ



池や田んぼなどで見られ、お腹が赤いのも赤黒とも言われます。昆虫やミミズ、他の両生類の卵や幼生を餌とします。

どうぶつ

●ニホンカモシカ



国の特別天然記念物で、昼間でも見られることがあります。木の皮を食べるので、林業にしばしば被害を与えます。

●イノシシ



雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べます。農作物にも深刻な被害を与えます。

●タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

●ニホンザル



雑食性で果実、植物の種や芽のほか、昆虫なども餌とします。群れを作り、なわばりをもって生活します。

●キクガシラコウモリ



頭胴長は5～7.5cmくらいの大型のコウモリで、鼻の一部が広がった菊の花に似ていることが名前の由来です。

●ニホンウサギ



全身は茶色ですが、お顔だけが白い毛をしています。主に夜に活動して、葉や草、枝などを食べます。

●アナグマ



ずんぐりとした体つきのイタチの仲間。昼間活動することもあります。雑食性で昆虫、ミミズ、果実などを食べます。

●ニホンジカ



大型の哺乳類で、オスは10kg以上、雌は7kgほどです。この辺りでは近年数が増えてきて、植物を食い荒らしています。

とり

●ノスリ



カラスより大きなタカ仲間です。山地や人里で1年中見られます。ネズミや小鳥などをつかまえて食べます。

●カケス



ハトくらいの大きさで、山地にすんでいます。「ジュエー」と鳴き、ドングリを好んで食べます。

●コゲラ



スズメくらいの大きさで「キーキー」と鳴くキツツクの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。

●ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

●ウグイス



よく知られた鳴き声は「ウーホクホク」ですが、冬には「ヤッチャー」と鳴きます。ヤブの中に入れて姿を見るのは難しいです。

●メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体が銅緑色で、腹のまわりが白の帯が特徴です。人家の庭先でも見られます。

●ジョウビタキ

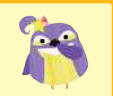


スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくるほり鳥です。山奥から住宅地で見られ、「ビツビツ」と鳴きます。

●ヒガラ



体長10～13cmくらいで、背と頭は黒く、腹は薄い褐色です。ツツビ、ツツビまたは、チョビ、チョビと鳴きます。



むし

●ルリボシヤンマ



はねを広げると8cmくらいのヤンマで、オスはお腹に水色の模様があります。やや寒いところの湿地などにいます。

●ネキトノボ



はねを広げると7cmくらいのアカトンボで、はねのつけ根が広く赤色です。水辺の植物が豊かな池のまわりにいます。

●アサギマダラ



春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代交代して移動します。ヒヨドリリノキが特に好みます。

●ツマグロヒョウモン



1993年頃から急に増え、海岸から山地まで分布を広がっています。幼虫はパンジーなどを食べます。

●クルマバッタ



トンサマバッタよりやや小さく、形どき密着めに群動回っているように見えますので、この名がつけました。

●キタテハ



成虫で越冬するチョウです。夏に現れるものは暗褐色ですが、秋のものは赤色で、はねの形も枯葉に似ています。

●エンマコオロギ



2cmくらいになる大きなコオロギで、畑のまわりの草むらにすんでいます。

●オオゾウムシ



体長1.2～2.4cmの日本最大のゾウムシです。弱ったマユズギなどに産卵し、幼虫はそれを食べて育ちます。

アクセス情報



【車でアクセス】
 1. 静岡駅前より国道 362 号線にて薬科川沿いに進む。
 2. 「薬科中学西」交差点を右折し、水見色川沿いに進む。
 3. 「水見色小学校」を右折、林道を進み、市街地より約 50 分にて到着。
 ※水見色の林道が通行止めの場合は新聞より迂回してください。
【迂回ルート】
 1. 静岡駅前より国道 362 号線にて薬科川沿いに進む。
 2. 「新聞トンネル」を通過後、最初の信号を右折。
 3. 林道を進み、市街地より約 50 分にて到着。

【バスでのアクセス】
 静岡駅前よりしずてつバス「水見色行き（薬科線）約 40 分「水見色小学校」にて下車、徒歩 50 分。

緊急連絡先


- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119 番
- 警察 110 番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせて服・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしてあります。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。
- コース周辺の私有地には駐車しないでください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境局
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
 制作年：令和6年2月

他にもたくさんの生きものがいるよ！
 QRコードからのぞいてみよう！！



メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう
 しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
 ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください！！(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

